

総合学科の高校と工業科の高校を統合した他県の事例

1 総合学科と工業科を併設した高校の事例

統合校	統合対象校		学科の併設に係る効果等
<p>伊豆総合高校 [H22 開校・静岡県]</p> <p>■総合学科4学級 [系列] ①文化国際 ②情報理数 ③看護健康 ④ビジネス教養</p> <p>■工業科3学級 ①機械工学 ②電気電子工学 ③建築工学</p>	<p><small>おおひと</small> 大仁高校</p> <p>■総合学科4学級 [系列] ①文化国際 ②情報理数 ③看護健康 ④ビジネス教養</p>	<p>修善寺工業高校</p> <p>■工業科3学級 [学科] ①機械工学 ②電気電子工学 ③建築工学</p>	<p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 工業科の生徒が、工業科単独では開設が困難な数学や理科等に関する発展科目を選択できるため、大学進学等の進路希望に対応できる。 ○ 総合学科の生徒が工業科目を履修できるとともに、工業系の資格取得を目指す際のサポート体制を構築している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学科ごとに定員が定められるため、生徒の学習ニーズに柔軟に対応することが困難な場合がある。
<p><small>あなんひかり</small> 阿南光高校 [H30 開校・徳島県]</p> <p>■総合学科3学級 [系列] ①地域クリエイト ②フードデザイン ③情報ビジネス ④バイオサイエンス ⑤総合サイエンス</p> <p>■工業科3学級 [学科] ①機械ロボットシステム ②電気情報システム ③都市環境システム</p>	<p><small>あらたの</small> 新野高校</p> <p>■総合学科3学級 [系列] ①自然科学 ②人文芸術 ③アグリクリエイト ④情報ビジネス</p>	<p>阿南工業高校</p> <p>■工業科4学級 [学科] ①機械科 ②電気科 ③建設科</p>	<p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの工業科におけるものづくり教育だけでなく、工業科の生徒がJAとの連携による販売活動に参加するなど、新たな体験が可能となっている。 ○ 学校設定科目「産業技術基礎」を開設することにより、工業のみならず、農業・商業も含め幅広く学習することが可能となっている。

2 総合学科の系列として工業系列を設置した高校の事例

統合校	統合対象校		工業系列の設置による効果等
<p><small>うずしお</small> 鳴門渦潮高校 [H24 開校・徳島県]</p> <p>■総合学科 5 学級</p> <p>[系列]</p> <p>①自然科学 ②人文科学 ③生活福祉 ④総合ビジネス ⑤情報通信 (工業系列)</p> <p>■スポーツ科学科 1 学級</p>	<p>鳴門第一高校</p> <p>■総合学科 4 学級</p> <p>[系列]</p> <p>①自然科学 ②人文科学 ③福祉 ④情報マネジメント</p>	<p>鳴門工業高校</p> <p>■工業科 2 学級</p> <p>[類型]</p> <p>①機械 ②環境 ③情報理数</p>	<p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 統合校の校舎について、鳴門工業高校の校舎を活用したことから、工業科の施設・設備が充実しており、スムーズに工業系列の教育活動を展開できている。 ○ 工業系列以外の生徒も工業系の資格取得が可能となる。

【参考】普通科の高校と工業科等の高校の統合により、総合学科の系列として工業系列を設置した高校の事例

統合校	統合対象校		工業系列の設置による効果等
<p><small>とおとうみ</small> 遠江総合高校 [H21 開校・静岡県]</p> <p>■総合学科 6 学級</p> <p>[系列]</p> <p>①人文社会 ②自然科学 ③食品園芸 ④ビジネス ⑤ライフデザイン ⑥機械技術 (工業系列) ⑦電子情報 (工業系列)</p>	<p>森高校</p> <p>■普通科 3 学級</p>	<p>周智高校</p> <p>■工業科 1 学級 [学科] 電子機械科</p> <p>■商業科 1 学級 [学科] 流通経済科</p> <p>■農業科 1 学級 [学科] 生産科学科</p>	<p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1 年次で「産業社会と人間」を履修後に、2 年次で系列を選択するため、不本意な系列選択が少なくなっている。 ○ 工業科の専門科目を工業系列以外の生徒も選択可能としている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 工業科の専門科目の履修が 2 年次からとなるため、専門学科レベルまで専門性を高めることが難しい。 ● 電気主任技術者・電気工事士等、工業科を卒業することにより取得要件が緩和される資格について、工業系列の場合は要件緩和の適用除外となる。

学校配置シミュレーション【田名部高校と大湊高校を統合して新設校を配置する場合】

■委員からの意見

むつ工業高校としては2学級規模となっても実績を上げられるとのことであり、これを踏まえると、田名部高校と大湊高校の統合も可能性がある。

	第1期実施計画	第2期実施計画		第3期実施計画
	R4（期間内最終年度）	R5～R9		R10～14
重点校	田名部 5学級	△2学級 →	新設校 普通科○学級 総合学科○学級	△1学級
連携校	大湊 4学級		○学級	
	むつ工業 3学級	むつ工業 ○学級		
小計	12学級	△2学級 →	10学級	
地域校	大間 2学級		大間 2学級	
合計	14学級	△2学級 →	12学級	11学級

※ 統合や学級減等の対象となりうる学校については、学級数を「○学級」と示している。

※ 統合や学級減等については、実施計画期間のいずれかの年度に実施する。

※ 地域校については、基本方針に基づき入学状況等により対応することから、地域校を配置する場合は第2期実施計画期間の期間内増減数を△3学級から△2学級としている。

期待される効果等

- 統合により7～8学級となることで、十分な教員が確保されることにより、難関大学の二次試験に向けて専門的な指導が期待できる。また、各部活動が部員数の増加により活性化し、むつ市の悲願である硬式野球部「むつ市から甲子園」の実現も期待できる。
- 田名部高校と大湊高校は、両校とも単位制が導入されているので、統合校の円滑な学校運営が期待できる。
- 大学進学を希望する総合学科の生徒については、田名部高校が有する重点校及び進学校としてのノウハウを共有できるため、学力向上につながる可能性がある。

更に検討を要する課題等

- 県内で最大規模の高校となるため、統合校の設置場所等が課題となる。
- 通学路線や下宿先の確保が課題である。